

会 議 録

会議の名称	第6回津山地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和2年 2月19日(水)		
	午後 7時00分 開会		
	午後 8時30分 閉会		
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室		
委員出席者	佐々木 大 輔	委員長	津山中学校PTA会長
	佐 藤 良 紀	委員	柳津小学校PTA会長
	菅 原 祐 也	委員	横山小学校PTA会長
	今 野 政 雄	委員	津山中学校学校運営協議会長
	林 三 治	委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	浅 野 茂 美	委員	横山小学校学校運営協議会長
	阿 部 篤 雄	副委員長	津山町行政区長会副会長
	佐々木 江 梨	委員	つやま幼稚園保護者会長
	阿 部 宗 幸	委員	杉の子保育所保護者会長
事務局出席者	小 林 和 仁		学校再編推進室長
	岩 淵 裕 喜		学校再編推進室学校再編推進係長
	菅 野 雅		学校再編推進室主事
	佐 藤 鷹 彦		学校再編推進室主事
傍聴者	0名		
議事	統合校の位置について		
挨拶	事務局	開会 午後7時00分	
	委員長	開会挨拶	
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。担当から説明させていただく。	
	事務局	(担当より内容を説明)	
	事務局	前回の会議録について、お渡しした内容で公開してよいか。 (異議なし)	
	事務局	それでは議事に入らせていただく。進行については、佐々木委員長にお願いする。	
	委員長	議事1 統合校の位置について事務局へ説明を求める。	
	事務局	(資料に基づき統合校の位置について説明)	
	委員長	検討に入る前に、事務局の説明に対して質問はあるか。	
	委員	本日の資料について、登米市のハザードマップ上では、津山中学校と横山小学校の校舎は、洪水時に浸水又は土砂災害の危険があると記載されているが、洪水時の浸水というのはどのように捉えればよいのか。もう1点	

		<p>はまちづくりの部分について、「都市計画マスタープラン」において、柳津地区へ地域生活の中心としての誘導を図り、柳津地区を中心としたまちづくりを目指すとなっているが、学校の位置を検討する上での考え方としてはどうかと思う。</p> <p>事務局 1点目について、津山中学校と横山小学校については、ハザードマップ上「洪水時に浸水する（浸水想定区域内）、又は土砂災害の危険があるため地震時のみ避難可能な場所」としており、その文言を引用しているので資料のような表現となっている。2点目について、「都市計画マスタープラン」は登米市のまちづくりについて、市全体及び地域ごとに市の方向性をまとめたものとなっている。その中で津山地域については、柳津地区を地域の主要な居住地区と位置づけ、都市機能などを配置し地域生活の中心づくりを行うとしている。今回、教育委員会から考え方を示すということで、教育委員会で考え方を整理する上では、市の関連計画との整合性を図りながら検討する必要があることから資料に記載した。教育委員会としては、これらの視点を踏まえた上で、統合校の位置については、「児童の安心・安全」を最優先に位置づけて検討すべきと考えているが、あくまで考え方の一つとして捉えていただければと思う。</p> <p>委員 資料の修正は可能か。</p> <p>事務局 内容については、調整したい。</p> <p>委員長 他に質問はあるか。</p> <p>(質問無し)</p> <p>委員長 それでは、検討に入る。統合校の位置について意見を求める。</p> <p>委員 昨年の台風19号以前であれば、校舎等の施設の状況から横山小学校が良いと思っていたが、台風が来て校舎自体は大した影響もなかったようだが学校前の通りが冠水し、横山地区に入れないう状況となった。平成20年頃の豪雨のときに、保育所に子どもを預けている方が登米方面から子どもを迎えに行ったとの話を聞いたが、昨年の台風については、その方法も使えない状況であったと思う。そのような危険性があるので、前回会議の案のように柳津小学校を利用する方向で進めていければと思う。</p> <p>委員 見た目の印象ではやはり横山小学校の方が優れているように感じるが、実際の建築年数や教室数などの数字ではそこまで差が出ていないというところは、これまでの検討の中で分かったが、ランニングコストの面で全館床暖房の柳津小学校については、電気代や設備の管理費が横山小学校と比較して高くなると思う。そういった面で考えれば横山小学校の方が良いと思うが、やはり、子どもの安全を考えると、昨年の台風のこともあるので、柳津小学校にならざるを得ないと思う。また、使わなくなる校舎の利用についても一体的に考えていければ良いと思う。</p> <p>委員 施設の問題、安全の問題と色々あると思う。災害については、いつ、ど</p>
--	--	--

	<p>のように発生するか分からないのが災害だと思う。数年前にも想定外の地震があり、昨年の台風も被害について、ある程度考えられていたとは思いますが、実際に目の当たりにしたら思うところがあった。その中でいかに子ども達の安全を確保できるかが今後の課題だと思う。校舎を比較した際に多少の差はあると思うが、他の視点も含めて考えると柳津小学校の方が良いと思う。柳津小学校であれば林業センターへの避難も可能かと思う。三陸道や登米市内、石巻方面へのライフラインもあるのであらゆる問題に対してフォローができる場所の方が子ども達にとって安心・安全な環境だと思う。</p> <p>委員 似たような意見になってしまうが、校舎等の施設についてはそこまで大きな差は無いように思う。先ほどから意見として出ている、災害時の避難などを考えた際に、柳津小学校と横山小学校を比較すると柳津小学校の方が安全だと思う。</p> <p>委員 災害時の安全面ということであれば柳津小学校だと思う。ただ、校舎について横山小学校は、柳津小学校の問題点を踏まえ建築されている。また、先ほど話があった、床暖房についても費用が掛かっていると聞いている。また、保育所の送迎についても話があったが、道路が冠水してしまうと柳津小学校を利用した場合は横山地区の人が、横山小学校を利用した場合は柳津地区の人が学校へ行けなくなるという点では同じ問題を抱えていると思う。</p> <p>委員 先ほどの意見にもあったが、昨年の台風以前であれば横山小学校の校舎の利用も考えられたが、実際に台風を経験し、被害状況を見ると柳津小学校の方が良いのではないかと思う。現時点において、児童数が少ない状況にあるのでなるべく早く統合するべきだと思う。</p> <p>委員 やはり、昨年の台風のこともあり、災害時についての不安を感じている人が多いと思う。消防団の方たちが浸水した道路などで水に浸かりながら作業している姿を見ると、小学校の位置については柳津小学校の方が良いのではないかと思う。緊急時にはBRTなども活用し安全の確保を行っていければ良いと思う。</p> <p>委員 統合校の位置を考えるにあたり、改めてアンケート調査の結果を見てみた。その中で一番求められているのが子ども達の安全となっている。この点については、先ほど事務局から示されたものとも一致している。校舎自体については、実際に校舎見学を行ったが、多くの方が横山小学校の方が良いと感じると思う。ただ、一番気になるのがハザードマップを見た際に、土砂災害警戒区域の中に学校があるということである。横山小学校が建てられた当時はそれでも致し方がなかったと思うが、今時点で校舎の位置を考えると、土砂災害警戒区域の中にあえて学校を設置することについては、疑問に感じるところがある。現在は避難所の位置も柳津地区に集中しており、災害時には横山地区の住民が柳津地区へ避難するということも考えられる。それらを考えると、柳津小学校を利用した方が良いと考える。校舎の設備について問題があるとは思いますが、その点については、予算をかけて対応できるものや、利用者の知恵と工夫などで対応</p>
--	--

	<p>していき、横山小学校の良い部分を柳津小学校の中でも取り入れ、活かしていくことができればと思う。</p>
委員	<p>災害時のことについて少し意見が異なるかもしれないが、あえて危険を冒して子どもを迎えに行くことよりも、子どもを待機させておくということも今後の防災を考える上で必要な考え方だと思う。そのように考えると、柳津小学校の方が校舎自体も2階以上であれば、最低限避難所としては活用できることになっている。北上川の氾濫について危険がないわけではないが、周辺環境なども考慮すると柳津小学校の方が良いのではないかと思う。</p>
委員長	<p>一通り意見をいただいたので準備委員会としての結論を出したいと思う。いただいた意見をまとめると災害時の安全確保の部分から柳津小学校を利用した方が良いとの意見だったが、準備委員会として柳津小学校を利用する方向でまとめて良いか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、議事の統合校の位置については柳津小学校を利用する方向で今後の検討を行っていくこととする。その他に何かあるか。</p>
委員	<p>前回の会議で委員から示された案の中に校舎の跡地利用についての意見も含まれていたが、その点について何か情報はあるか。</p>
事務局	<p>担当課にも確認を行ったが、今時点では、学校再編の結果にかかわらず、今の津山公民館を残していくということであった。横山小学校が廃校になった際に校舎が公民館になるかという点については、今時点では回答することはできないが、廃校施設については、地域の意見を聞きながら活用について検討していくことになる。</p>
委員	<p>廃校施設の利用法については今後も意見が出てくると思うが、この委員会の中で検討を行っていくものなのか。</p>
事務局	<p>学校再編準備委員会については、統合の実施、統合校の位置などの検討を行っていただく機関として設置している。廃校施設については意見をいただくことはできるが、活用方法の検討や決定という部分については、また別の機会になる。その際には、当然、地域の方の意見をいただきながらになると思うのでその際に意見をいただければと思う。</p>
委員長	<p>他に何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の開催日について確認したい、今回の会議で統合校の位置について方向性が決まったので、次回の会議では、今後の進め方や(仮称)再編開校準備委員会について説明を行う予定でいる。年度末ということもあるが3月中の開催は可能か。</p>
委員	<p>今後の進め方というのはどういった内容のものになるのか。</p>

事務局	劣化診断調査のスケジュールなどを説明させていただくことになる。 (仮称)再編開校準備委員会については委員の選定などについての説明を 考えている。
委員	学校再編準備委員会としては本日の会議である程度の方向性を示せた と思う。これから先の部分の検討については、先ほど話された(仮称)再 編開校準備委員会で行うことになるのか。
事務局	本日の会議で位置についてまで意見をいただいた。今後は、劣化診断調 査を行い校舎の活用方針や通学支援の考え方などについてお示しし、地域 別再編実施計画を策定することになるので、それまでの間は学校再編準備 委員会の委員として検討を行っていただくことになる。
委員	実施計画の策定までとなると年度を越えることになると思うが、学校再 編準備委員会の委員は充て職ということで良いのか。
事務局	各組織から代表者として選出された方になるので、組織の会長職に該当 する人というわけではないが、組織の構成員でなければならない。
委員	会議で決まった内容のとおり再編が進む場合でも教育委員会から学 校再編準備委員会に報告を行う必要があるということか。
事務局	実施計画の策定は教育委員会で行うので計画の内容について確認をい ただく必要がある。また、施設改修についても方向性を説明した上で意見 をいただきたい。開催頻度については、今までのように月1回ということ にはならないと思う必要がある際は集まっていただくことになる。
委員	ならば、少し期間を開けて方向性が決まった段階で開催した方が良いと 思う。
委員	期間が短すぎて内容が中途半端になってしまうこともあり得る。いずれ にせよ、年度を越えることになるのだから、次回開催についても次年度に なってもかまわないのではないか。
事務局	次年度に開催となった際には、再度、委員の推薦を行っていただく場合 もでてくるので、委員が決まり次第日程調整をさせていただく。
委員	委員が変わった際に話が振り出しに戻らないかが不安である。書類等の 引継ぎは当然行われるが、それだけでうまく引き継げるかが心配である。
事務局	この委員会の委員については、各組織の代表ということで、組織の意見 を集約していただくことをお願いしていることから組織の構成員であ る必要があると考えている。
委員	今までの話し合いの流れを理解している人たちで検討を進めたほうが 話し合いは進みやすいと思う。

事務局	<p>確かに同じ人たちで今後も進めたほうがスムーズだと思うが、この委員会の設置目的や委員の性質的なものを考えると組織の構成員でなくなった人に対して、今まで通り委員として意見をいただくことができなくなってしまう。</p>
委員	<p>引継ぎの部分については、仕方がないと思う。このメンバーでいつまでも検討していけるかという点と難しいと思う。ただ、事務局の方でもこれまでの経緯をしっかりとまとめておいて、次に委員になる人に対してこれまでの話し合いの経過の説明を行っていただく必要もあると思う。</p>
委員	<p>委員については当初から各組織の代表者ということでお話をいただいていたが、今回の会議で位置について決まったということで今後の検討を行っていく上ではやはり、今の委員が引続き検討を行っていく必要があるのではないかと思う。</p>
委員	<p>未就学児の保護者の代表者についても今は2つ施設があるが来年度から1つになってしまうが、園長先生から引続き委員を引き受けて欲しいと言われている。</p>
委員	<p>組織から代表ということで選出されれば会長である必要はないと思うが、そもそも組織の構成員でなくなってしまった際に組織の代表者として意見することは難しいと思う。</p>
事務局	<p>この委員会については、各組織の代表者が組織の意見を集約していただく形で設置しており、設置当初からそのような考えで説明し、要綱等を設置している。各組織の意見を取りまとめていただき、会議で発言していただくことが重要と考えている。引継ぎについては、事務局でも協力させていただくのでその点についてはご理解いただきたい。会議の進行についても委員長を前年度からの委員に行っていただくなどの方法も考えられると思う。</p>
委員	<p>今後（仮称）再編開校準備委員会を立ち上げることになるとの話だったが、その委員構成についても代表者1人で検討することになるのか。</p>
事務局	<p>今時点では、委員は1人と考えており、実際に検討を行う際は、部会などを設けその中での検討になると考えているが、（仮称）再編開校準備委員会の委員構成については、まだ正式決定しているわけではない。再編準備委員会については、委員長が会議の運営上必要と認めた時に委員以外の者を会議に出席させることができるので、委員としてではないが前回までの経緯の確認という部分で会議に出席するという方法も考えられるが、委員の引継ぎについては事務局で検討させていただき、委員長と調整させていただく。資料の修正についても併せて調整させていただく。</p>
委員長	<p>他に何かあるか。</p>
委員	<p>中学校の再編についてはどのような状況となっているか。</p>

事務局	現在検討中である。お示しできる時期については今時点でお話しすることはできないがご了承いただきたい。
委員長	他に何かあるか (意見無し)
委員長	それでは、本日の議事を終了する。次回開催日については来年度の4月から5月となる。
事務局	以上で本日の会議を終了する。
事務局	閉会 午後8時30分